

受付  
7.10.30  
議会事務局  
総務課

(様式2)

令和7年10月30日

京丹後市議会議長 様

会派名 無会派  
代表者氏名 鳴海公軌



調査研究等報告書

下記のとおり実施しましたので報告します。

記

1 日程

令和7年10月28日(火) 11:00~14:00

2 場所

- ① 近畿中部防衛局
- ② 近畿地方整備局

3 目的

- (1)山陰近畿自動車道の早期全線開通に向けて、近畿地方整備局並びに京都府に対して要望活動を行う。
- (2)緊急輸送道路に指定されている国道及び府道の整備事業について、事業主体である京都府並びにその財源支援を行っている防衛省に対して事業支援を要望する。

4 該当する政務活動費の用途項目

要請・陳情費

5 支出経費の内訳と金額

レンタカー：11,000円

ガソリン：3,347円

高速料金：10,830円

合計：25,177円を、添乗者7人で割り鳴海支払分3,600円。(別紙)

4/10

6 参加議員名

鳴海公軌

7 活動成果の概要、所見

別紙報告書にて、概要を記載。

【所見】

私自身が高速道路について何う市民や事業者の声を率直にお伝えした。内容としては、宮津一大宮間の有料化によるネガティブな意見であるが、それ以上に移動の時間と費用のコストの大きさにより、人流・情報の妨げになっていることを取り除くことの方がまちづくりに重要であるという意見。

引き続き、整備促進に期待するとともに、私自身も微力ながら貢献したい。

8 成果物、資料等

別紙報告書にて、記載。

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟 令和7年度要望活動(R7.10.28)経費計算書

出席者	会派	京都	大阪	車	セレナ			ノア			合計 (円)
					レンタカー	ガソリン	高速料金	レンタカー	ガソリン	高速料金	
1 会長 池田 惠一	政溪会	○	○	セレナ	2,020	-	全額				2,020
2 副会長 櫻井 祐策	政溪会	○	○	セレナ	2,020	-	-				2,020
3 幹事 谷津 伸幸	政溪会	○	○	セレナ	2,020	全額	-				2,020
4 幹事 多賀野 一彦	翔和会	○	○	セレナ	2,000	-	-				2,000
5 幹事 松本 聖司		○	○	セレナ	2,020	-	-				2,020
6		○	○	セレナ	2,020	-	-				2,020
7	政溪会		○	ノア				1,570	480	1,550	3,600
8			○	ノア				1,570	480	1,550	3,600
9	政溪会		○	ノア				1,570	480	1,550	3,600
10	翔和会		○	ノア				1,580	467	1,530	3,577
11	翔和会		○	ノア				1,570	480	1,550	3,600
12	政溪会		○	ノア				1,570	480	1,550	3,600
13	政溪会		○	ノア				1,570	480	1,550	3,600
合計					12,100	谷津議員持ち	池田議員持ち	11,000	3,347	10,830	37,277

政務活動費 対象額	
政溪会	20,460
翔和会	9,177
中野議長	2,020
松本副議長	2,020
鳴海議員	3,600

立替分	
多賀野議員	23,100
山本議員	14,177

□...立替者      ...端数処理

# 要 望 書

令和7年10月

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

## 米軍経ヶ岬通信所設置に関連する道路整備に関する要望書

防衛省におかれましては、米軍経ヶ岬通信所設置に伴い、市内の国府道の整備を民生安定事業の有利な財源によりご支援をいただいております。今年度の防衛省の全体の道路改修等事業の予算額は約88億円という状況の中、京丹後市内の道路事業に補助金として約15.7億円が配分されており、多く配分をいただいていることに感謝いたします。

引き続き、民生安定事業の府道浜丹後線上野平バイパス、府道間人大宮線丹後弥栄道路丹後工区及び府道網野岩滝線外村バイパス整備の支援をしていただいておりますことに対しても感謝いたします。

本議員連盟では、国内で2例目となるミサイル防衛用早期警戒レーダーが配備されている米軍経ヶ岬通信所は、我が国の安全保障上欠かすことのできない重要な防衛施設であると考えています。

しかしながら、京丹後市内においては、まだまだ道路整備が十分ではなく、令和3年度に米軍経ヶ岬通信所内に隊舎が完成したことに伴い、米軍経ヶ岬通信所への物資運搬や隊員の買い物等、生活上の移動時の交通事故の心配があり、防衛施設に対する住民の理解を得る上でも、道路整備は切実かつ喫緊の課題となっています。

また、令和6年能登半島地震では、大規模災害発生時の半島地域における道路ネットワークの脆弱性が顕在化しており、丹後半島も能登半島と同じ日本海側の地形であり、地震や大雨等の大規模自然災害が発生した場合、同様のことが想定されることから、大規模自然災害時においても「確実に機能する道路ネットワーク」の、道路整備が必要不可欠であり、早急な整備が安全・安心の確保に大きく貢献するものと確信しています。

つきましては、現在、京都府において整備されている下記道路事業が早期に完成するよう必要な予算確保と京都府へ要望中の下記道路事業に対する格別の御支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 事業中の道路事業

主要地方道浜丹後線（上野平バイパス）

一般府道間人大宮線（丹後弥栄道路・丹後工区）

主要地方道網野岩滝線（外村バイパス）

### 要望中の道路事業

国道178号（「仮称」屏風岩橋）

令和7年10月28日

近畿中部防衛局

局長 丸山 幹夫 様

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

会長 池田 惠一

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

会 長 池 田 惠 一

副会長 櫻 井 祐 策

幹 事 松 本 聖 司

幹 事 谷 津 伸 幸

幹 事 多賀野 一 彦

小 牧 裕 幸

佐久間 仁 美

中 野 勝 友

鳴 海 公 軌

野 木 教 貴

東 田 真 希

山 本 佑 太

由 利 彰 基

吉 岡 正 一

和 田 晋

顧 問 森 口 亨

# 京丹後市における防衛省関連道路事業 位置図



日本海

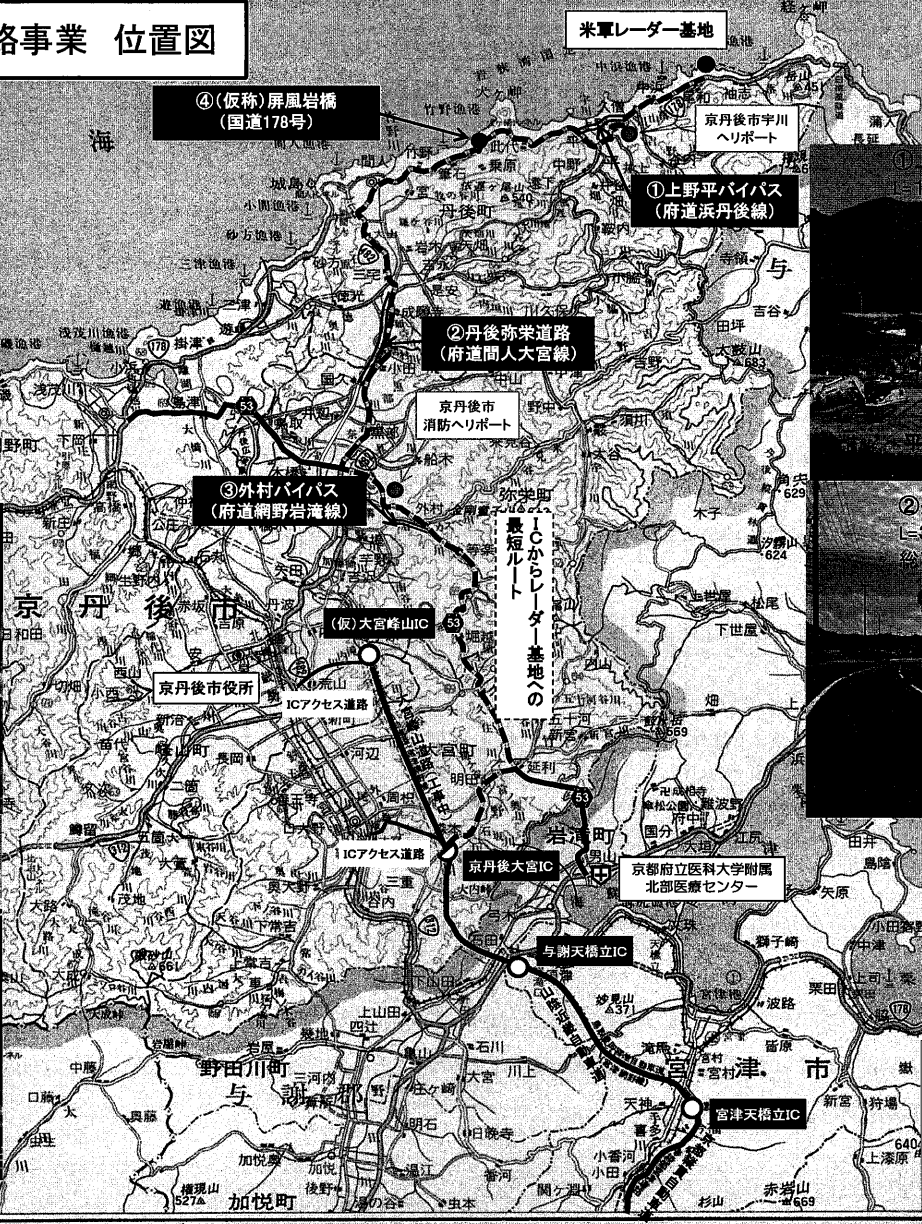
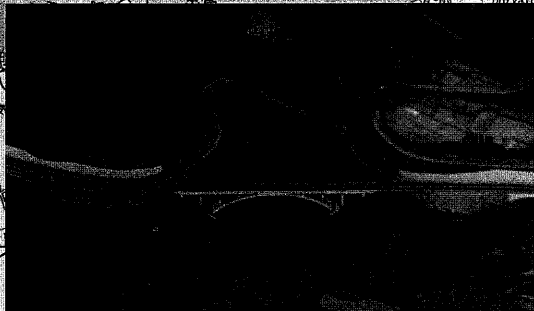
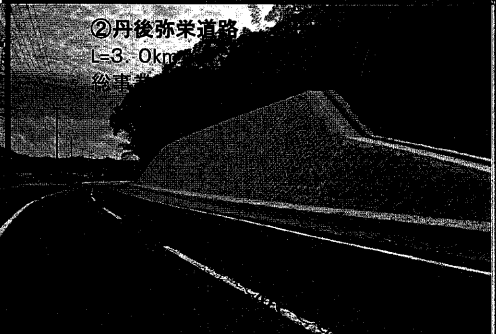
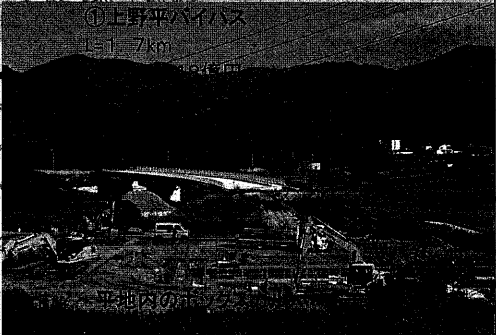
④(仮称)屏風岩橋  
(国道178号)

米軍レーダー基地

①上野平バイパス  
(府道浜丹後線)

②丹後弥栄道路  
(府道間人大宮線)

③外村バイパス  
(府道網野岩滝線)



- 凡例
- 防衛省関連道路事業(府事業)
  - 米軍関連施設
  - 防衛省関連事業(市事業)

# 要望書

令和7年10月

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

# 要 望 書

山陰近畿自動車道は、日本海沿岸国土軸を形成する重要な道路でありながら、日本海側唯一の高速道路のミッシングリンクになっており、全線事業化の目途さえ立っていない状況です。特に道路ネットワークの構築は、あらゆる産業の振興や救急医療など市民生活に直結し、本市が将来にわたって発展していくうえで最も重要な課題であります。

このような中、地元では、山陰近畿自動車道の整備加速化のため、令和4年度に一部利用者負担を甘受したところであり、令和7年4月から料金徴収が始まっていますので有料事業計画に即した計画的かつ着実な整備推進と先線の早期ルート決定が必要不可欠となっています。

また、令和6年能登半島地震では、大規模災害発生時の半島地域における道路ネットワークの脆弱性が改めて顕在化しました。丹後半島も能登半島と同じ日本海側の同様の地形であり、地震や大雨等の大規模自然災害が発生した場合、同様のことが想定されることから、大規模自然災害時においても確実に機能する道路整備が喫緊の課題となっています。

国においては、令和7年6月の閣議決定で第一次国土強靱化実施中期計画を策定して、今後5年間でおおむね20兆円強程度を目途とする事業規模で施策が実施されることとなりましたので、令和8年度道路整備予算においても必要な予算を例年以上の規模で確保し計画的に事業を推進し山陰近畿自動車道の全線早期完成に向け、次の要望を実現していただくようお願い申し上げます。

- 1 大宮峰山インターチェンジから府県境までの全線を令和10年代に完成するよう具体的な整備の年次計画を立てて時期的な目途を明らかにするとともに、その早期全線整備を図られたい。
- 2 網野インターチェンジから府県境までの区間について、早期に都市計画決定を行うための技術的支援を行われたい。
- 3 大宮峰山インターチェンジから網野インターチェンジまでの区間について、令和8年度には事業化できるよう財源等の支援を行われたい。
- 4 大宮峰山道路事業が有料事業計画に基づき、令和8年度までには完成するよう必要な予算措置を行われたい。

令和7年10月28日

近畿地方整備局  
局長 齋藤 博之 様

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟  
会 長 池 田 惠 一

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

会 長 池 田 惠 一

副会長 櫻 井 祐 策

幹 事 松 本 聖 司

幹 事 谷 津 伸 幸

幹 事 多賀野 一 彦

小 牧 裕 幸

佐久間 仁 美

中 野 勝 友

鳴 海 公 軌

野 木 教 貴

東 田 真 希

山 本 佑 太

由 利 彰 基

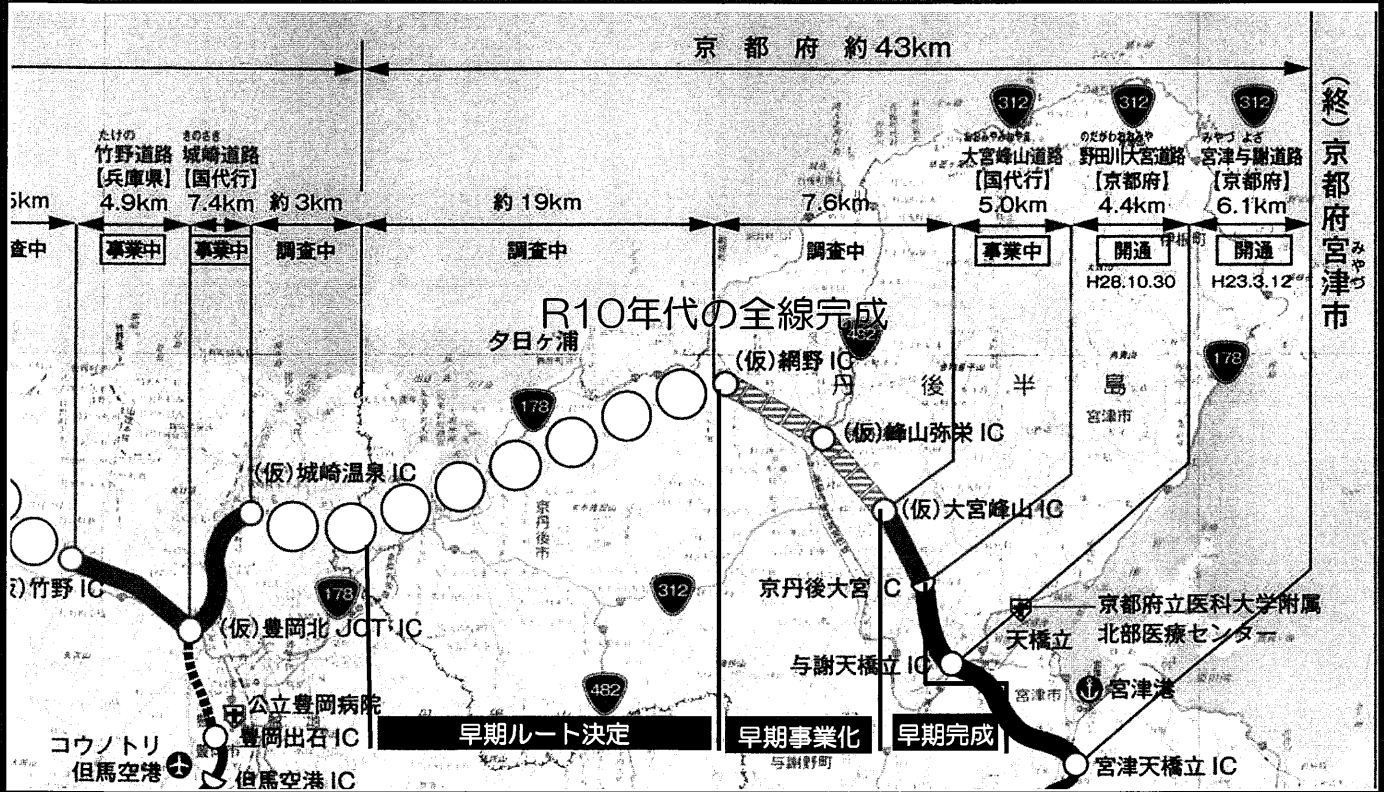
吉 岡 正 一

和 田 晋

顧 問 森 口 亨

# 山陰近畿自動車道の早期全線完成

- 具体的な年次計画を立てた大宮峰山IC～府県境の令和10年代の全線完成
- 府県境までの早期ルート決定
- 大宮峰山IC～網野IC間の早期事業化
- 大宮峰山道路の早期完成



凡例	
土工区画	■
橋梁区画	▬
トンネル区画	▬▬▬
IC検討箇所	○
凡例：回避項目	
市街地	■
公共施設	●
観光地	●
神社・寺	■
国立公園	■
鉄道	▬▬▬
電線架設	—●—●—
凡例：配慮項目	
地すべり地形	□
避難路	▬▬▬
土砂災害特別警戒区域	■
土砂災害警戒区域	■
砂防指定地	■
地すべり防止区域	■
急傾斜地崩壊危険区域	■
養魚	■
コウノトリ行動圏	○
貴重樹行動圏	○
埋蔵文化財	■
保安林	■
国営墓地	■
ため池	○